

「おやじの会」についてのアンケート結果

以前から「おやじの会」について質問が市Pに寄せられておりましたのでアンケートを実施いたしました。その結果、春日井市内小中学校52校のうち22校に「おやじの会」があることが分かりました。(アンケート実施は平成29年度)

「おやじの会」は歴史の浅い任意団体ですので、活動状況は様々で各会の独自性が色濃く出ております。会員が現役保護者だけの会もあればOBも参加している会もあり学校も関与している会もあります。地域性もさることながら設立者の個性によって内容が異なります。また、今後は保護者が主導する活動の方が主流になると思われます。

この資料を読まれて文章に違和感を感じるかもしれませんが、回答者が会長さんや教頭先生と立場の違いによるものである事をご承知ください。

このアンケート結果が「おやじの会」設立希望の方やこれからの会運営の参考になれば幸いです。

最後にアンケートに御協力して頂きました各校「おやじの会」の皆様、担当の先生方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

春日井市小中学校PTA連絡協議会

1. 「設立のきっかけは？」

- ・学校支援、子育て支援、会員の親睦。
- ・父親の参加により家庭と学校の連携を深める。
- ・学校支援、地域の子育て支援を通じて地域ぐるみで健全育成を図る。
- ・当時のPTA会長の発案。
- ・「創意と活力」のある学校づくり推進事業で地域連携をテーマにしていたので。
- ・有志による集まり。
- ・小学校の統合。
- ・家庭と学校が連携して子どもを育てていく中で、父親が貢献・活躍できる場をつくる。
- ・学校側からの環境整備協力要請をきっかけに設立。
- ・運動会の設営準備や競技の支援に人手が欲しい。
- ・運動会前の草刈りの人手不足にPTA役員が参加した事。
- ・不明 3件

2. 「設立までに苦労したことはありますか？」

- ・設立当初は会員が10名程度だった。
- ・会員が集まってくれるかどうか心配。
- ・当初まだ設立されているところが少なかったので、当時の教頭先生が先進校に話を聞きに行った。
- ・発起人になってくれる人がいるかどうか。
- ・1年目は、学校（教頭）が存在PRや企画運営の先頭に立った。
- ・会員を集めるのに苦労した。
- ・特になし

3. 「規約はありますか？またその内容を教えてください」

- ・本校に在籍または卒業した生徒の父母を会員とする。
- ・学校職員(校長、教頭、主幹、教務、校務、生徒指導主事)
- ・会長1名、庶務1名。
- ・名称、事務局、目的、活動、方針、会員、役員。
- ・PTAの支援及び子供達との親睦を目的とし、行事の主催を主な活動とする。
- ・規約はないがメアドのネットワークを整えユニフォーム（ゴルフシャツ）を持っている
- ・総則、目的及び事業、役員、会議、会計、入会及び退会、個人情報、雑則。
- ・小学校に在籍または卒業した生徒とその保護者に会員資格があります。
- ・イベントを学校で行う場合は学校側と話し合いをして進めます。
- ・会費は集めず行事ごとに参加者に費用を負担してもらいます。

(規約がないところも多い)

4. 「主なイベントの内容を教えてください。また、その際に どのような点を工夫されましたか？」

- ・草刈り、剪定作業、ペンキ塗り、補修作業、落ち葉収集。
- ・総会、懇親会、除草剪定作業、体育大会文化祭パトロール、部活交流、作業、研修。
- ・ドッジボール、キックベース、ハイキング、プールでカヌー教室、ペットボトルロケットコンテスト、肝試し、餅つき(年5回)
- ・7月頃 流しそうめんと竹細工作り、秋の収穫祭(今年はさつまいもを畑で作っているの
で、それを焼き芋とさつまいもご飯+豚汁に)、1月頃 餅つきと紙ヒコーキ。
- ・本年度ふれあい教育セミナーの一回分をおやじ会主催で行った。
- ・運動会、ドッジボール大会、避難所宿泊体験、夏季防犯パトロール、神社お祭り菓子ま
きイベント、野球教室、ラグビー教室、もちつき、クリーン作戦。
定例会を月1回行なっている。
- ・流しそうめん、もちつき。
- ・年間学期に1回で、親睦会3回、環境整備等2~3回。環境整備は除草作業、ペンキ塗り
落ち葉拾いなど。研修会と親睦会(3000円くらい)
- ・サッカー部児童との親善試合、美化活動(草刈・側溝掃除等)、ソフトバレーボール
- ・観察池清掃(6月)、商店街宵市まつり出店(8月)、校内除草作業(9月)、野球部親善試合(11
月)、親子ふれあい資源回収(PTA行事)協力、校内環境整備(卒業式前整備)
- ・図書補修、自然観察林補修、校内補修。
- ・遊具のペンキ塗り、学校環境整備、運動会の準備・競技支援・応援団。ふれあい教育セ
ミナースタッフ(ドッジボール大会審判、餅つきの搗き手、親子工作教室)
- ・避難所宿泊体験、親子ドッジボール大会、除草、ペンキ塗りなどの作業。
- ・運動会前の草刈り、味噌作り、餅つき補助など。

5. 「イベントの募集方法は？」

- ・手紙
- ・各会ごとに案内を個別に配布。内容に応じて会員外の保護者にも配布。
- ・学校から募集案内文を配布。
- ・チラシを作り、全児童に配布する。時には地域の方も募集する。
- ・ふれあい教育セミナーの募集と同じ(2件)
- ・PTA文書(プリント)
- ・学校経由でのチラシ配布。
- ・会員に文書にてお知らせする。
- ・年度当初に全家庭に案内配布。イベント毎に学校のホームページで案内。
- ・会員及び保護者へ案内文書を配布。
- ・会員にはスタッフとしての参加呼びかけ。参加呼びかけは、プリント配付。

6. 「イベント時に注意すべき事（例えば安全面など）はありますか？」

- ・草刈作業ではゴーグルなどを貸し出している。
- ・保険に加入している(1日用)
- ・保護者(又は大人)の送迎、低学年については親子での参加をお願いしています。救急箱の準備。
- ・おやじの会のメンバーと保護者で常に見守って、児童に活動させる。食物の衛生、安全管理に気をつけている。
- ・神社菓子まきでは転倒した時に一旦中止にするなどしている。他のおやじの会の方が何をするのか(役割分担)
- ・食材を扱うので食中毒や衛生管理に気をつけている。安全などに注意する必要もあるので裏方としてお母さん方もボランティアで参加してもらう。
- ・傷害保険に加入している。
- ・PTAの行事としてとらえ保険に加入している。

7. 「PTA本体との関係はどういう位置付けになっていますか？」

- ・組織としては別になっているが挨拶運動や資源回収など協力しあっている。
- ・PTA活動の一環。
- ・特にありません(別組織)
- ・おやじの会のメンバーはPTA会員なのでPTA行事として扱っている。
- ・現在はあくまで有志のためPTAとは直接関係していない。
- ・PTAとは別であるが、行事など協力して行なっている。
- ・要請があればイベントや運動会の準備など協力を行うが基本的にはPTAとは独立した別組織。
- ・別団体
- ・別組織ですが、PTA役員の方も積極的に参加してくださっている。
- ・独立した組織として位置づけている。
- ・PTAやそのOB、地域の方が会の会員となっています。
- ・PTA本体とは切り離し会の代表は会員間で互選している。
- ・別団体だが協力している。

8. 「予算はどこから？」

- ・PTA(育友会)から支出。
- ・PTA予算より捻出。
- ・餅つきは参加費徴収。その他は学校の「創意と活力のある学校づくり支援事業」より。
- ・経費を計算し、徴収する(300円くらい)
- ・ふれあい教育セミナーの講師料を運営資金としている。会費はなし。
- ・イベント毎に参加費を徴収する。市から公園清掃を請け負う。土曜チャレンジなどのイベントとコラボ。
- ・なし(必要なら校内の環境整備費を使っている)
- ・イベント(商店街宵市場まつり出店)による売上金。会員による資源回収収益金
- ・PTA会費で主に支出しています。
- ・資源回収で得た収益金を当てている。
- ・特になし

9. 「ネット、SNSの活用はされてますか？」

- ・活動の様子をHPで紹介。
- ・緊急メールのみ活用。
- ・無し
- ・会の開催、注意事項などをメール配信している。活動の様子をHPに掲載している。
- ・メール、LINEは使用しているがHP等に行っていない。
- ・学校のホームページで活動報告をしている。
- ・会員間の情報の共有に利用している。
- ・一部LINEなどの使用。

10. 「活動を始めて良かった事を教えてください」

- ・教師だけでは手が足りない校内環境整備ができる。
- ・役員以外の保護者の参加、交流の場が広がった事。
- ・おやじメンバー同士が知り合いになり、仲良くなれたこと。
- ・親同士の絆が深まった。学校の環境整備も協力していただいている(運動会前の除草、地面が土の駐車場凸凹をなおす)
- ・子ども達の喜ぶ姿。
- ・活動を通じて地域内の繋がりができた。子ども達の喜ぶ顔を直接見る事ができた。
- ・生徒の手の入らないところでも、大人が20名ほど集まればできるものも多くあることがわかりました。
- ・サッカー部との親善試合では、親子でふれあう良い機会となっている。また美化活動を行っていただき、教職員だけでは行き届かない環境整備が可能になっている。
- ・学校と保護者・地域(OB)との親交が深まり学校運営に多大な協力支援を頂ける事。
- ・父親同士のコミュニケーション。父親のパワーの大きさ。
- ・学校の情報が入ってくるようになった。子どもの笑顔が見られる。父親同士の連携ができる。先生との距離感が縮まった。
- ・保護者同士が顔を合わせる場ができたので情報が共有できるようになった。

11. 「これまで運営などで苦労された点、また今後の課題はありますか？」

- ・メンバー間の連絡(メールの返信が遅いなど)。仕事をされているので打ち合わせ日の設定が難しい。おやじメンバーに負担をかけない運営体制。メンバー人数の確保。
- ・OBの方が心良く参加してくれることが心強いが、現保護者の方々にもっと周知し参加してほしい。
- ・作業当日までの器具の準備が大変。補修箇所の下見が必要。
- ・会長が全て行なっていること(文書、議事録、他の調整、司会、運営、会計等)。参加者が少ない行事について避難所等多くする工夫など。おやじの会員が大勢参加しないといけなイベントについての参加呼びかけ(ドッジボール、もちつき)。今後の課題は会長引き継ぎ。
- ・新規メンバーの参加。イベントを新たに企画する場合の制約が多い。
- ・雨天の際にやることがなくなる。
- ・毎年年度当初に案内をするが、ご参加いただける保護者の方がある程度固定しており、他の保護者への広がりが難しい。
- ・現役のおやじ会員が少なくOB(元PTA役員など)による運営に支えられている点。
- ・保護者の活動メンバーが少なく、地域の方が多いので、保護者の参加を多くする。
- ・今のところ、順調。

- ・参加人数の確保。

12. 「これからオヤジの会をスタートさせたいPTAへのアドバイスをお願いします」

- ・子ども達と一緒にオヤジメンバーも楽しめる会を作ってください。
- ・課題に記入した気持ちもあるのですが、参加される方が気楽に「できる時に、できることを、可能な範囲で」を前面にしていよと考えます。
- ・技術を持った保護者がたくさんいるので、やってもらえる作業を相談すると良い。我々の手に負えない作業ができることがあります。
- ・オヤジの会メンバーの考え方は、無理のない程度に行う・仕事があるので、無理な時は気にせず休む、を共通理解しているので続いていると思う。
- ・やる気のある会長一人いれば何とか会を行う事ができます。スタートさせることは大変だと思いますが、まずは1人2人でも夜間パトロール等少人数でも行う事ができるものから始めて会員が増えてから行事を行うようにしてみればよいのでは。教頭先生とPTA会長が協力的でないとダメですが、、、。
- ・参加が負担にならないようあまり固くならずに。自分ができる範囲で皆が参加する事。
- ・ぜひ気楽に始めてみてはいかがでしょう。
- ・自由に参加できる雰囲気大切にされるとよいと思います。
- ・無理しないこと。型にはめると、窮屈になる。先進校の実践は、参考にはするが、学校地域の実態に合わせる。入学説明会で、新1年生の保護者に最初のPRを行う。
- ・近隣のおやじの会のある学校に見学に行く。活動内容をまずは見てみることから。
- ・保護者同士が気軽に集まれるように無理をしないで頑張り過ぎずほどほどを目指す。

13. 「その他。何かありましたらお書きください」

- ・現在あるオヤジの会全体で大きなイベントができるとおもしろいかも、と思います。
- ・気軽に参加してイベント当日に協力してくればOKという会としてスタートしているが、会員は参加しやすいメリットがあるが会長が全て行うデメリットがある。会長引き継ぎも嫌がる為大変である。
- ・学校主導でないと活動できないオヤジの会では学校の負担が増えるだけ。会員の募集等もおやじの会が主体的に行ってこそ意味がある。